



卒業（進級）するまでに読んでおくと役立つ本！（堀建治教授）



『子どもの心の育ちをエピソードで描く ー自己肯定感を育てる保育のために』 鯨岡峻 著 ミネルヴァ書房
 実習記録のまとめ方として「エピソード」を用いることが本学では推奨されています。実際にどのような場面を取り上げ、どのようにまとめていけばよいか、見当がつかないという方も少なくないかと思います。

本書はエピソード記録の第一人者である鯨岡峻先生が乳児から幼児までの保育実践を通じてのエピソードの描き方をわかりやすくまとめていらっしゃいます。実習だけでなく就職後も手に取ることができる良書です。是非ともご一読を！

（請求記号：376.11/ク）

新着図書（予定）を一部ご紹介！

ピアノの楽譜が多数入ります。主に初心者向けです。ピアノの練習にぜひ活用ください。また他には就職関係、絵本、コロナウィルスに関する本などがあります。

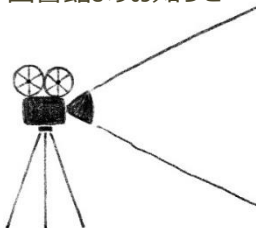
- ・『美しく響くピアノソロ スタジオジブリ名曲集 1』
- ・『バイエルでひけるディズニー・セレクション 星に願いを』
- ・『コロナ後の世界を生きる-私たちの提言』
- ・『ビジネス・就活で生きる「伝え方」のベストプラクティス』
- ・『犬がいた季節』 など



Contents

図書館の思い出 Part2 伊藤喬治 講師

1. 卒業（進級）までに読むと役立つ本の紹介（堀建治教授）
2. 新着図書の紹介
3. 図書館の思い出 Part2
(伊藤喬治講師)
4. 特集
5. 学生さんによる絵本紹介
6. 図書館よりお知らせ



ときどき話しているのですが、私の家庭は、私が小学校高学年頃から経済的にも厳しくなっていました。そのころ同級生の娯楽の中心はテレビゲーム、少年ジャンプと遊園地(家族旅行)でしたが、私の家庭では二週間に一度の市立図書館でした。

読書少年ではなかったため、最初は楽しみ方がわからなかったのですが、ある日、奥の書架に「ブラックジャック」や「火の鳥」など手塚治虫のマンガを見つけると、それが楽しみになりました。一通り読み終えるころには、いろいろな本に手を出すようになりました。工作の本やマンガの描き方の本を読んで実際にやるようになり、熱帯魚の飼い方を読んで飼ってもいない魚の生態に詳しくなり、パソコンの本を読んで持っていないパソコンの知識が付きまして。だいたい経ってやっと物語に手を出すようになり、「ズッコケ三人組」や「三国志」に夢中になりました。

振り返れば、私にとって図書館は、「いろんな世界を教えてくれる、おもしろいオジサン」のような存在でした。読書が好きで図書館に行ったのではなく、図書館でいろいろなことに会って、育ててもらったように思います。図書館は中を歩いているだけで、年齢性別関係なく「これどう？」とそこにいる本や雑誌が好奇心を刺激してくれます。「探し物」があって図書館に行くことも多いと思いますが、それだけではなく、図書館をぶらぶらする中で今まで知らなかった新しい世界に出会う楽しさを感じてほしいと思います。

特集



★「教員の本（教員が執筆した著書）」

川勝図書館長が執筆された本が新しく入りました！

『よくわかる児童文化』 川勝泰介編著
(ミネルヴァ書房) 2020年11月発行



★「冬の絵本特集」

特集コーナーにて、冬をテーマにした絵本を特集します。実習の読み聞かせなどにいかがですか？

期間：11月半ば～2月末頃

★「がんを知ろう、相談しよう」

三重県立図書館と三重県がん診察連携協議会がん相談支援部会との連携企画です。県内の図書館も賛同し、同時期に展示を行います。

期間：11月半ば～12月末頃

学生さんによる絵本の紹介



『ともだちほしいなおおかみくん』 さくらともこ作 いもとようこ絵 岩崎書店

(Kさん)

色んな物語や絵本に出てくる「おおかみ」というと、どうしても怖くて恐ろしいイメージを持っていませんか？この絵本に出てくる森の動物達も「おおかみくん」のことを怖がっています。しかし、本当はお友達が欲しくて寂しがりやの心優しい「おおかみくん」。そんなおおかみくんと動物たちが仲良くなっていく様子を描いており、お友達を作る一歩踏み出す勇気の大切さを改めて感じることができます。動物たちと一緒に遊びたい！というおおかみくんの一生懸命さや、相手を思いやる気持ちが伝わってくる心温まる1冊です。人を見かけで判断してはいけないう、「おおかみ」だからといって怖いという先入観を持つのはやめて相手の気持ちになって考えてみよう、ということを教えてくれる素敵な絵本だと思います。大人の私もハッとさせられた内容で、深く心に残りました。



『だるまさんが』 かがくいひろし作 ブロンズ新社

(Tさん)

この絵本はシリーズ化されていて、他にも「だるまさんの」や「だるまさんと」などがあります。どれもシンプルで面白くて、絵本の楽しさがつまっている本だと思います。中でも一番シンプルな「だるまさんが」が一番好きです。小さい子どもから大人までの幅広い年代で楽しめる本だと思います。「だるまさん・が～」のあとに「ぶっ」となるような予想外のだるまさんの動きに笑ってしまいます。そして、この本は1歳児のクラスでの職場体験で、初めて子どもに読み聞かせをした思い出の本でもあり、その時から大好きな絵本になりました。ページをめくる度、だるまさんがころんでいたたり、つぶれていたたりするので、次はどうなっているのかな？というワクワク感がある絵本です。

ユマニテク短期大学 としょかんだより

3号 (2020年11月25日発行)

ユマニテク短期大学 図書学術委員会
〒510-0066

三重県四日市市南浜田町 4-21

Tel. 059-356-8170

<https://www.jchumanitec.ac.jp/library/>
☆OPAC (蔵書検索) はこちらから↓



図書館からのお知らせ

<長期貸出期間について>

1年生 12月21日(月)～長期貸出手続きを開始します。返却の詳細は掲示板でご確認ください。

2年生 11月24日(火)から長期貸出手続きを開始します。返却日は12月23日(水)です。

【重要】 <2年生の皆さんへ>

1月20日(水)までに必ず借りている図書を返却しましょう。1月の試験後は卒業式まで大学へ来ることがないと思います。忘れないように注意しましょう。

みなさんの原稿を募集します！

新刊紹介やおすすめ絵本の紹介などの原稿を募集します。

採用された方には図書カードを進呈します。ご応募お待ちしております。

詳しくは図書館カウンターまで。

